

令和7年度（2025年度）

北海道立農業大学校の概要



令和7年（2025年）6月

目 次

I 本校の概要

1 位置付け	1
2 沿 革	2
3 教育概要	2
4 教育施設	4

II 在校生の状況

1 学科別在学状況	5
2 地域別出身状況	5
3 出身学科状況	5
4 出身高校別入校生数	6

III 卒業（修了）時の進路状況

1 令和7年（2025年）3月卒業生の進路.....	7
2 就農率の推移	8
3 各種資格・免許取得状況	8

IV 受験の状況

1 受験者数の推移	9
2 受験資格及び入試科目	10
3 入校に係る諸経費	11

V 各種研修の状況

1 研修の種類・目的・応募資格等	12
2 各種研修の実施状況	14

VI 参考資料

1 家畜の飼養状況	15
2 畑作園芸作物の作付状況	16
3 北海道立農業大学校組織図	17
4 北海道立農業大学校ブランド	18
5 北海道立農業大学校の情報発信	19
6 農業大学校施設案内図	20

I 本校の概要

1 位置付け

(1) 設置の目的・役割

- 農業大学校の設置目的

近代的な農業経営を担うのにふさわしい者及び農村において指導的役割を果たす者を育成（北海道立農業大学校条例）

- 農業大学校の役割

実践的な研修教育を通じ、自ら近代的な農業経営を担うばかりでなく、地域農業の振興に貢献する優れた農業後継者等を育成・確保

(2) 制度上の位置付け

- 「農業改良助長法」（昭和23年制定）

昭和52年の改正において都道府県の農業大学校における研修教育を協同農業普及事業の一環として推進

- 「北海道立農業大学校条例」（昭和48年制定）

- 「学校教育法」（昭和22年制定）

農業改良助長法に基づく「農業者研修教育施設」としての位置づけに加えて、平成18年4月1日から学校教育法に基づく専修学校に位置づけ

(3) 道農業政策上の位置付け

- 「第6期北海道農業・農村振興推進計画」（令和3年（2021年）3月策定）

施策の推進方針と展開方向

持続可能で生産性が高い農業・農村の確立

国内外の需要を取り込む農業・農村の確立

多様な人材が活躍する農業・農村の確立

就農に向けて、農業経営に必要な知識や技術を習得する農業大学校などの研修教育を推進します。

道民の理解に支えられる農業・農村の確立

- 「北海道総合教育大綱」（令和2年（2020年）3月策定）

地域と産業を担う人を育む

大学や企業等との連携強化

地域の産業を担う人材の育成を図るため、大学等の高等教育機関、企業、産業団体等と連携し、卒業生の地元就職や地元定着などに向けた取組を進めます。

2 沿革

昭和21年5月 昭和49年4月	農村中堅青年を養成する施設「北海道庁立農業講習所」として発足 高卒者を対象とする本科〈酪農・畑作経営学科〉と中卒者を対象とする別科〈酪農・畑作科〉を有する農業後継者育成の高等教育施設として「北海道立農業大学校」に改組
昭和52年1月 昭和54年4月 昭和60年4月	高校進学率の高まり等から別科を廃止 本科の修業年限を2年制に改組 養成部門に、畜産経営学科〈乳牛コース・肉牛コース〉と畑作園芸経営学科〈畑作コース・野菜コース〉の2学科4コースを設置 研修部門を新たに設け、稲作経営専攻コースを新設
平成9年4月	北海道立農業大学校整備構想に基づき改築整備を開始 (平成9年～11年の3カ年計画)
平成10年4月 平成11年4月	新校舎へ移転 養成課程を卒業した者を対象に、2年間の研究課程を新設 農業者の生涯学習の場として研修部門「機械研修」等の研修コースの拡充及び組織改組
平成18年4月 平成19年4月 平成20年3月	養成課程を専修学校(専門課程)として位置付け 農業系4年生大学への編入が可能となる 養成課程の卒業者に「専門士」の称号を付与

3 教育概要

(1) 教育目標

次代の農業及び農村を担う優れた農業者の養成を目的として、次の目標のもとに、実践的な研修教育を行う。

- 農業の国際化や技術の高度化等に対応した農業経営を行うのに必要な知識・技術・能力の養成
- 豊かな経営感覚をかん養し、技術及び経営の革新に対応できる能力の養成
- 社会経済情勢の変化に対処し得る幅広い視野と協調性の養成
- 豊かな農家経営を営むのに必要な能力の養成

(2) 部門・学科・定員

部 門	学 科	コ ー ス	定 員	修業年限
養成課程	畜産経営学科 畑作園芸経営学科	乳牛・肉牛 畑作・野菜	60人 (各学科概ね30名)	2年
研究課程	農業経営研究科	—	10人	2年
研修部門	稲作経営専攻コース	稲作	10人	2年

※ 研修部門においては、この他に「新規参入者研修」、「農業簿記通信講座」、「農業経営者育成研修(栽培経営基礎・農業経営分析・農業経営実践)」、「農業機械研修(トラクタ基本操作・スキルアップ・プランニング)」、「フォークリフト運転技能講習」、「車両系建設機械運転技能講習」、「玉掛け技能講習」、「小型移動式クレーン運転技能講習」、「ガス溶接技能講習」、「アーク溶接特別教育」を実施

(3) 主な研修教育内容

<養成課程>

畜産経営学科	乳牛及び肉牛の飼養管理、家畜衛生、繁殖、削蹄、飼料作物の栽培管理技術等の習得、農業簿記など経営管理の学習
畑作園芸経営学科	畑作物（小麦、てん菜、豆類、馬鈴しょ）、施設・露地野菜等についての施肥、は種、収穫等の栽培管理技術・流通等の習得、有機農業、農業簿記など経営管理の学習

<研究課程>

農業経営研究科	各自の研究テーマに応じた高度な経営管理能力や技術の習得、また、6次産業化に向けた農畜産加工から販売、マーケティングなどの知識・技術の習得
---------	--

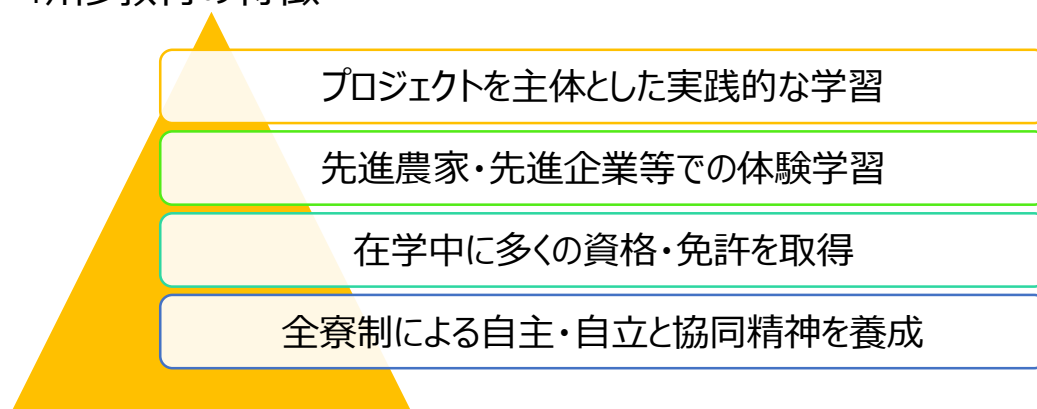
<研修部門>

稲作経営専攻コース	拓殖大学北海道短期大学での稲作経営に関する専門学習及び本校における集中講義・視察研修等
各種研修	農業者や新規就農者を対象とした実践的研修の実施（一般研修・農業機械研修）の実施

(4) 各種認証

令和2年 9月	J A S有機ほ場認証
令和2年10月	A S I A G A P青果物（いちご）認証
令和3年11月	農場H A C C P（乳用牛、肉用牛）認証
令和4年 3月	北海道H A C C P（アイスクリーム）認証

(5) 研修教育の特徴



(6) 目指す担い手像

- 国際化の進展等社会情勢の変化に対応できる幅広い視野と豊かな想像力を備えた人材
- 高度な技術と優れた経営管理能力を身に付け、プロ農家として経営手腕を発揮し、環境にやさしく高収益な農業を目指す人材
- 新しい作物の導入や経営の多角化等特色とゆとりある農業に積極的にチャレンジする地域の農業・農村のリーダーとしてふさわしい指導力を備えた人材
- 快適な農村の暮らしを創意工夫するとともに、郷土を愛し、様々な人との交流を通じて、活力とうるおいのある村づくりを実践できる人材

4 教育施設

(1) 敷地面積

(単位 : ha)

総面積	畑小計					林 地	建物施設地	道路防風林
	普通畑	飼料畑	採草地	放牧地				
237.7	83.5	21.9	12.7	35.1	13.8	112.0	15.5	26.7

(2) 作付作物、飼養家畜、加工品

畑作物	秋まき小麦、馬鈴しょ（食用、加工用、有機）、てん菜（直播・移植）、大豆、小豆、えだまめ
露地野菜	たまねぎ、かぼちゃ（有機）、だいこん、ブロッコリー、カリフラワー、長ねぎ、スイートコーン（慣行・有機）、さつまいも（有機）、にんじん、ながいも、ごぼう、キャベツ、落花生、陸稲
施設園芸	いちご（ASIAGAP認証）、大玉トマト、ミニトマト、ピーマン、オクラ、メロン、すいか、ほうれんそう、レタス（有機）
飼料作物	牧草、サイレージ用とうもろこし
家畜	乳用牛、肉用牛（農場HACCP認証）
加工品	アイスクリーム（北海道HACCP認証）、ゴーダチーズ、いちごジャム、かぼちゃパン、のうだい牛乳

(3) 主な建物施設

管理棟	校長室、事務室、講堂、会議室、機械室・電気室
教室棟	教室、生物工学実験室、土壌分析実験室、病理害虫実験室、図書室、保健室、情報処理室
加工情報研修棟	農産加工室、肉加工室、乳加工室、パソコン研修室、研修教室、情報センター
学生寮	学生寮（男子3棟、女子3棟、研究科1棟）
研修・宿泊棟	研修者及び外部講師宿泊施設
畜産施設	乳牛舎（約60頭収容規模）、肉牛舎（約60頭収容規模）、家畜演習施設、バンカーサイロ、スラリータンク、堆肥舎
畑作園芸施設	農産センター（実習室、農薬保管庫、小農具収納庫）、育苗用固定ハウス、栽培用ビニールハウス、作物調査分析室、野菜選果場、作物調製貯蔵施設、有機農産物選果場、有機農産物栽培用堆肥舎
農業機械施設	機械整備実習室、トラクター格納庫、工作室、トラクター運転練習場、農業機械格納庫、機械研修センター、ミルカー研修室、給油施設
農業機械	トラクター、ダンプトラック、畜産・畑園用機械一式
体育施設	体育館、学生ホール、野球場、サッカー場、テニスコート

II 在校生の状況

1 学科別在学状況（令和7年4月7日現在）

（単位：人）

学 科	学 生 数						
				非農家出身		道外出身	
	1 年	2 年	合計	1 年	2 年	1 年	2 年
畜産経営学科	19 (3)	22 (15)	41 (18)	12 (3)	19 (13)	8 (2)	10 (4)
畑作園芸経営学科	26 (3)	18 (3)	44 (6)	5 (1)	8 (1)	4 (1)	2 (1)
小 計	45 (6)	40 (18)	85 (24)	17 (4)	27 (14)	12 (3)	12 (5)
農業経営研究科	4 (1)	3 (1)	7 (2)		1	1 (1)	3
稲作経営専攻コース	5	10 (2)	15 (2)		4 (1)		
合 計	54 (7)	53 (21)	107 (28)	17 (4)	32 (15)	13 (4)	15 (5)
() は女子				49 (19)		28 (9)	

2 地域別出身状況

（単位：人）

区 分	畜産経営学科		畑作園芸経営学科		農業経営研究科		稲作経営専攻コース		計
	1 年	2 年	1 年	2 年	1 年	2 年	1 年	2 年	
空知				2 (1)	1	1 (1)	2	3	9 (2)
石狩		1 (1)		2 (1)	1				4 (2)
後志				3 (1)			2	1	6 (1)
胆振			2 (1)					1 (1)	3 (2)
日高	1								1
渡島	1	2 (1)							3 (1)
檜山									
上川	1	1 (1)	4	2	1		1	3 (1)	13 (2)
留萌								1	1
宗谷									
林-㇏	1	1 (1)	10	5					17 (1)
十勝	4 (1)	3 (2)	6 (1)	3		2			18 (4)
釧路		2							2
根室	3	2							5
道外	8 (2)	10 (8)	4 (1)	1	1 (1)			1	25 (12)
計	19 (3)	22 (14)	26 (3)	18 (3)	4 (1)	3 (1)	5	10 (2)	107 (27)

() は女子

3 出身学科状況

（単位：人）

区 分	畜産経営学科		畑作園芸経営学科		稲作経営専攻コース		計
	1 年	2 年	1 年	2 年	1 年	2 年	
普通科	7	7 (5)	8 (1)	3	1	2	28 (6)
農業科	11 (3)	12 (9)	11 (2)	12 (3)	2	8 (2)	56 (19)
工業科			3	1			4
商業科			1	2			3
総合学科		2	2		1		5
その他	1	1	1		1		4
既卒者							
計	19 (3)	22 (14)	26 (3)	18 (3)	5	10 (2)	100 (25)

() は女子

（単位：人）

区分	農業経営研究科		計
	1 年	2 年	
本校養成課程	4 (1)	2	6 (1)
稲作経営専攻コース			
拓殖大学北海道短期大学		1 (1)	1 (1)
計	4 (1)	3 (1)	7 (2)

() は女子

3 出身高校別入校生数

(単位：人)

総合振興局 ・振興局	出身高校名	畜産 経営学科	畑作園芸 経営学科	稲作経営 専攻コース
空 知	北 海 道 岩 見 沢 農 業 高 等 学 校			2
石 狩	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校		1	
後 志	北 海 道 倶 知 安 高 等 学 校			1
	北 海 道 真 狩 高 等 学 校		1	
日 高	北 海 道 富 川 高 等 学 校	1		
	北 海 道 静 内 農 業 高 等 学 校	1		
渡 島	北 海 道 八 雲 高 等 学 校	1		
檜 山	北 海 道 檜 山 北 高 等 学 校			1
上 川	北 海 道 旭 川 農 業 高 等 学 校	1	1	
	北 海 道 上 川 高 等 学 校		1	
	ク ラ ー ク 記 念 国 際 高 等 学 校			1
	北 海 道 剣 淵 高 等 学 校		1	
	北 海 道 富 良 野 緑 峰 高 等 学 校		1	
オホーツク	北 海 道 網 走 桂 陽 高 等 学 校		1	
	北 海 道 網 走 南 ヱ 丘 高 等 学 校		1	
	北 海 道 大 空 高 等 学 校		2	
	北 海 道 北 見 工 業 高 等 学 校		2	
	北 海 道 清 里 高 等 学 校		1	
	北 海 道 美 幌 高 等 学 校	1	1	
十 勝	北 海 道 音 更 高 等 学 校		1	
	北 海 道 帯 広 農 業 高 等 学 校		3	
	北 海 道 上 士 幌 高 等 学 校		1	
	北 海 道 更 別 農 業 高 等 学 校	2		
	北 海 道 士 幌 高 等 学 校	1	1	
	北 海 道 広 尾 高 等 学 校	1		
根 室	北 海 道 中 標 津 高 等 学 校	1		
	北 海 道 中 標 津 農 業 高 等 学 校	1		
	北 海 道 別 海 高 等 学 校	1		
道外他	福 島 県 立 会 津 農 林 高 等 学 校	1		
	東 京 都 立 瑞 穂 農 芸 高 等 学 校		1	
	京 都 府 立 農 芸 高 等 学 校		1	
	東 京 都 立 葛 飾 野 高 等 学 校		1	
	神 奈 川 県 立 中 央 農 業 高 等 学 校	1		
	岐 阜 県 立 岐 阜 農 林 高 等 学 校	1		
	奈 良 県 立 磯 城 野 高 等 学 校	1		
	島 根 県 立 隠 岐 島 前 高 等 学 校	1		
	学 校 法 人 有 明 学 園 有 朋 高 等 学 校		1	
	学 校 法 人 角 川 ド ワ ン ゴ 学 園 N 高 等 学 校	1		
	高 等 学 校 卒 業 程 度 認 定 試 験	1	2	
合 計		19	26	5

Ⅲ 卒業（修了）時の進路状況

1 令和7年(2025年)3月卒業生の進路

(単位：人)

学科・コース	自家就農	雇用就農	進学	就職	研修	未定	その他	計
畜産経営学科	1	11	2	8	0	0	0	22
畑作園芸経営学科	12	3	6	4	0	0	0	25
農業経営研究科	1	0	0	2	0	0	0	3
稲作経営専攻コース	6	1	0	1	0	0	0	8
合計	20	15	8	15	0	0	0	58
割合	34%	26%	14%	26%	0%	0%	0%	100%

【畜産経営学科】

- ＜自家就農＞ 1
- ＜雇用就農＞ 11 株式会社サンエイ牧場（大樹町）
株式会社TABATA MILK LAND（鹿児島県）
株式会社熊谷牧場（浜中町） 2 株式会社前中牧場（清里町）
株式会社井出農場（別海町） レークヒルファーム（洞爺湖町）
株式会社なかしゅんべつ未来牧場（別海町） 2 有限会社田口畜産（幕別町）
株式会社大槻牧場（清水町）
- ＜就 職＞ 8 北海道立総合研究機構（札幌市）
有限会社責任事業組合帯広畜産センター（帯広市）
株式会社北角重機（根室市）
幕別池田酪農ヘルパー有限責任事業組合（幕別町）
猿払村酪農ヘルパー運営有限責任事業組合（猿払村）
松前町役場（松前町）
北海道農業共済組合（中標津町）
有限会社標茶営農サポートセンター（標茶町）
- ＜進 学＞ 2 帯広畜産大学 2

【畑作園芸経営学科】

- ＜自家就農＞ 12
- ＜雇用就農＞ 3 有限会社 共済農場（富良野市） （有）天羽牧場（日高町）
有限会社ハッピーネスデューリィ（池田町）
- ＜就 職＞ 4 北海道オフィス・マシン株式会社（札幌市） 芦別市役所（芦別市）
日本ニューホランド（札幌市） JAカレッジ
- ＜進 学＞ 6 北海道立農業大学校農業経営研究科 4 酪農学園大学 愛媛大学

【農業経営研究科】

- ＜自家就農＞ 1
- ＜就 職＞ 2 上川中央農業協同組合連合会（愛別町）
独立行政法人家畜改良センター（福島県）

【稲作経営専攻コース】

- ＜自家就農＞ 6
- ＜雇用就農＞ 1 あしだファーム（千歳市）
- ＜就 職＞ 1 北海道立総合研究機構（比布町）

2 就農率の推移（昭和55年度から5か年毎）

（単位：人）

区 分	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3	R4	R5	R6
ア 就農	55	38	59	65	65	46	50	56	57	37	40	36	35
農業法人					2		1	12	17	13	13	15	15
イ 継続研修		4		2	4	11	3	1	1				
ウ 進学			2		10	8	12	13	6	9	10	7	8
本校研究課程					9	8	7	8	4	7	5	2	4
大学編入（H19～							2	4	2	2	5	5	4
その他			2		1		3	1					0
エ 農協職員	1	1	4			5	6	1	1	3	3	6	1
オ 農業団体					7	2	2	2	1	3	5	3	5
カ 公務員	1	1	1						2	1		1	2
キ 農業関連企業		2	1	1		3	1	1	6	5	4	6	6
ク 他産業			2			2	3		1	1	2	1	
ケ その他	1			1	1				1			1	1
コ 卒業総数	58	46	69	69	87	77	77	74	76	59	64	61	58
即時就農率 ア/コ×100(%)	95	83	86	94	75	60	65	76	75	63	63	59	60
就農率（見込） (ア+イ+ウ)/コ×100(%)	95	91	88	97	91	84	84	95	84	78	78	71	74

3 各種資格・免許取得状況（令和6年度） ※1・2学年の取得者総数

＜養成課程＞

（単位：人）

資格名	取得者数
家畜人工授精師(牛)	22
2級認定牛削蹄師	24
ガス溶接技能講習	24
アーク溶接特別教育	25
フォークリフト運転技能講習	37
車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習	45
家畜商	16
毒物劇物取扱者（農業用）	9
危険物取扱者（乙種4類）	16
玉掛け技能講習	18
普通救命講習	47
小型移動式クレーン運転技能講習	24

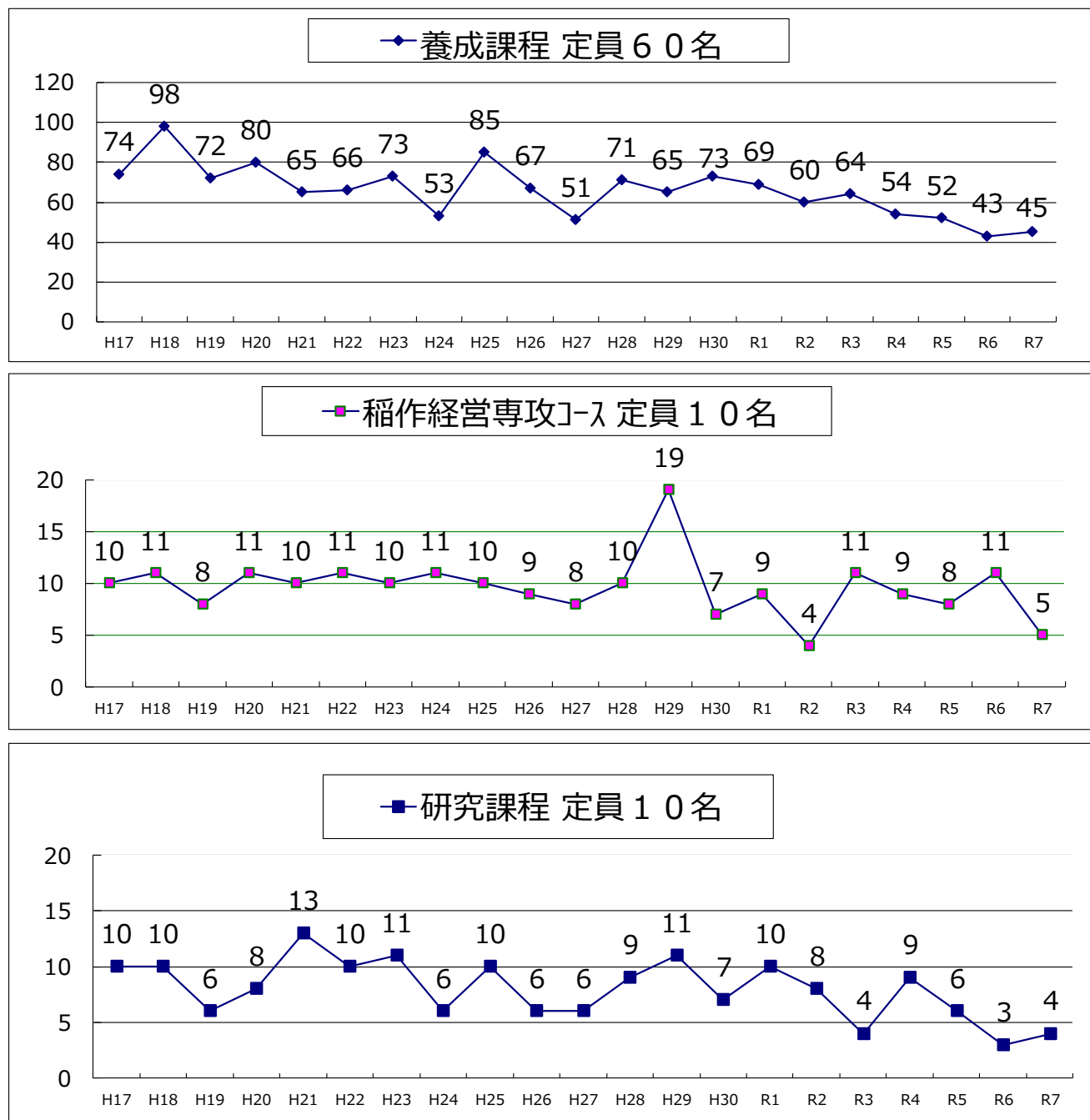
＜研究課程＞

（単位：人）

資格名	取得者数
危険物取扱者（乙種4類）	
ガス溶接技能講習	4
アーク溶接特別教育	1
車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習	2
日本農業技術検定（2級）	3
玉掛け技能講習	1
小型移動式クレーン運転技能講習	2
フォークリフト運転技能講習	1

Ⅳ 受験の状況

1 受験者数の推移



(参考) 受験倍率

区 分	養成課程	稲作経営専攻コース	研究課程
令和 3 年 度	1. 1 倍	1. 1 倍	0. 4 倍
令和 4 年 度	0. 9 倍	0. 9 倍	0. 9 倍
令和 5 年 度	0. 9 倍	0. 8 倍	0. 6 倍
令和 6 年 度	0. 7 倍	1. 1 倍	0. 3 倍
令和 7 年 度	0. 8 倍	0. 5 倍	0. 4 倍

2 受験資格及び入試科目

(1) 受験資格

ア 養成課程及び稲作経営専攻コース

区 分			受 験 資 格
推薦 入校 試験	共 通		○ 高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を2026年3月に卒業見込の者。
	特別推薦		○ 本校卒業後、北海道内で就農が確実な者。 （親族が経営する農業経営体（農業法人の構成員を含む）に就農すること） ○ 次のいずれかの条件を満たす者。 ① 調査書の認定平均値が3.5以上の者。 ② 日本農業技術検定3級以上を取得している者。 ③ 部活動（農業クラブ活動を含む）等で顕著な成績を収めた者。
	一般推薦		○ 本校卒業後、北海道内で就農の意思を有する者。
一般 入校 試験	一般試験		○ 高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校を卒業した者、若しくは2026年3月に卒業見込の者。又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。 ○ 心身ともに健康で、北海道立農業大学校卒業後、北海道内で就職する意思を有する者。 ○ 2026年4月1日現在で40歳未満の者。（1986年4月2日以降に生まれた者）

イ 研究課程

区 分		受 験 資 格
一般入校試験		○ 農業大学校養成課程の卒業若しくは2026年3月に卒業見込の者。 ○ 短期大学又は大学において農業に関する正規の課程を修めて卒業した者又は2026年3月に卒業見込の者。 ○ 上記に掲げる者と同等以上の学力を有すると知事が認めた者。

(2) 試験科目

区 分				試 験 科 目
養成課程 及び稲作 経営専攻 コース	入 校 試 験	推 薦	特別推薦	○ 面接
			一般推薦	
	入 校 試 験	一 般	一般試験	○ 作文（50分 600字） ○ 面接
研究課程	一般入校試験			○ 小論文（90分 800字）

※面接は、複数の面接員による個人面接

3 入校に係る諸経費

令和 7 年(2025年) 4 月 1 日現在

区 分	畜産経営学科 畑作園芸経営学科	稲作経営専攻コース	農業経営研究科
入校検定料	5, 4 8 0 円		
入 校 料	1 0, 8 1 0 円		
授業料（年額）	1 6 3, 2 0 0 円		
諸経費等	○寮費（全寮制） 月額2,710円～4,560円 ○光熱水費実費 （年間4.5万円程度） ○食費・清掃費 年間51万円程度 （1日3食1,350円） ○教材費、資格取得費 1年生：10～25万円程度 2年生：30～50万円程度 ○諸経費 年間15～20万円程度	○本校での集中講義経費 1年生：10万円程度 2年生：20万円程度 ○集中講義交通費及び 深川市内の生活費は 別途自己負担	○寮費（入寮する場合） 月額4,530円 ○光熱水費実費 （年間3～5万円程度） ○食費、教材諸経費、資格 取得費 年間50万円程度
そ の 他	○全寮制 男子 2 人部屋 女子 1 人部屋		○1 人部屋 ※寮以外からの通学も可
	○ノート型パソコン ※入校までに用意していただきます。		○ノート型パソコン ※入校までに用意していただきます。
	○普通自動車免許（必須） ○大型特殊自動車免許（できる限り入校前に取得）		
奨学金等	○農林水産省の就農準備資金や独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の利用可能 （条件等は要相談）		

注 1：入校検定料、入校料、授業料等の金額は変更する場合があります。

注 2：寮費は、入寮する建物により異なります。



学校全景

V 各種研修の状況

1 研修の種類・目的・応募資格等

農業大学校では、農業の担い手や新たに農業に参入する者に対し、実践的な知識・技術に関する短期研修及び農業機械研修を開催しています。

【一般研修】

研修の種類		研修内容	研修対象者	日数	定員	回数
新規参入者研修		新たに北海道で農業を行おうと考え、新規参入を目指して地域で研修中の者が、農業の基礎的知識の習得や円滑な就農と経営の安定化を図るため、就農に向けての経営計画の策定手法や経営戦略について習得します。 北海道の農業情勢と農家の現状、経営計画の必要性、農地取得制度の基礎知識、新規参入者の経営戦略等について、講義により理解を深めます。	農業研修中の「農業に従事しようとする者」	4	15	2
農業簿記通信講座		農業経営に必要な基礎知識と手法の習得を目的として、農業簿記の基礎的な記帳から決算までの実務処理を演習します。 <通信講座及びスクーリング> 7～9月に通信講座で学ぶとともに、スクーリングでは、通信講座の振り返りと農業簿記の基礎と目的を学び、演習を行いながら理解を深めます。	複式農業簿記を始めようとする「農業者」又は、農業研修中の「農業に従事しようとする者」	2	20	2
農業経営者育成研修	栽培経営基礎コース	農業者として必要な基礎的農業知識・技術及び経営管理能力を習得します。 <開催：2期> ○1期：基礎的知識・技術を学び、個別にプロジェクト課題を設定します。 ○2期：プロジェクト課題をまとめて、成果を発表、農業簿記の基礎を学習します。	農業に従事して概ね3年未満の「農業者」	7 〔1期：3日 2期：4日〕	15	2
	農業経営分析コース	自家等の経営実態を把握・分析し、経営計画(5か年)の策定を通じて、農業経営に関する知識や技術を習得します。 <開催：3期> ○1期：農業会計や経営管理について学びます。 ○2期：自家の経営資料から、作付品目毎の収支作成や経営計画の理論を学びます。 ○3期：2期で作成した収支から北海道営農Naviiによる経営計画を作成します。 ※自家の経営資料の持参が必須となります。	農業に従事して概ね3年以上で、自家の経営内容を把握している「農業者」	8 〔1期：2日 2期：3日 3期：3日〕	15	2
	農業経営実践コース	経営理念などの非財務的な経営目標の設定能力、損益・資金計画に基づくキャッシュフロー解析などの実践的な財務管理能力の研鑽を図る。 <開催：2期> ○1期：経営理念の必要性和役割について学び、自農場の経営理念を作成します。 ○2期：自農場の経営資料から、キャッシュフロー等の財務分析に基づく損益・資金計画を作成します。 ※自家の経営資料の持参が必須となります。	農業に従事して概ね5年以上で、自家の経営内容を把握している「農業経営主」	7 〔1期：3日 2期：4日〕	15	1

注1 上記の「研修対象者」における「農業者」とは、北海道で農作業に従事する者をいい、経営主及び補助的従事者（専従者）又は従業員（雇用期間が6か月以上で、今後も農業に従事する予定の者）であり、「農業に従事しようとする者」とは、新規就農予定者（市町村長等が就農可能と認める者）及び、高校・短大・大学等の学生で就農を希望している者をいいます。

注2 外国籍の方の受講については、注1の条件を満たし、かつ日本語による会話や読み書きができる方とします。

【農業機械研修】

研 修 の 種 類		研 修 内 容	研修対象者	日数	定員	回数
農 業 機 械 研 修	トラクタ基本操作	農作業安全やトラクタの構造に関する基礎知識、トラクタの基本的な操作方法などについて学ぶことができます。	農業機械作業の経験がおおむね 1 年未満の「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	3	15	4
	スキルアップ	農作業安全管理や作業機の着脱及び耕起作業の実践、トラクタの簡易整備方法、スマート農業に関する知識などについて学ぶことができます。	農業機械作業の経験がおおむね 1 年以上ある「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	3	15	3
	プランニング	農業機械の作業体系や利用状況の現状把握及びシミュレーションを通じて、土地利用型農業における機械作業体系の改善や機械導入計画の作成手法について学ぶことができます。	農業機械の作業体系及び、利用状況を把握している「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」 ※本研修は主に土地利用型農業が対象	3	5	2
技 能 講 習 ・ 特 別 教 育	フォークリフト 運転技能講習 (北労安教第435号)	最大荷重 1 t 以上のフォークリフトの運転業務を行うことができる資格が得られます。	大型特殊自動車免許（農耕車、カトラ等）等の限定のないものに限る。免停中は不可）を有する「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	2	15	2
	車両系建設機械（整地等） 運転技能講習 (北労安教第333号)	機体重量 3 t 以上の車両系建設機械（整地等）の運転業務を行うことができる資格が得られます。		3	15	2
	玉掛け技能講習 (北労安教第482号)	「つり上げ荷重 1 t 以上のクレーン、移動式クレーン等の玉掛けの業務」を行うことができる資格が得られます。	「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	3	10	2
	小型移動式クレーン運転技能講習 (北労安教第491号)	「つり上げ荷重 5 t 未満の移動式クレーンの運転（操作）の業務」を行うことができる資格が得られます。	玉掛け技能講習修了証を有する「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	3	15	1
	ガス溶接技能講習 (北労安教第148号)	「可燃性ガス及び酸素を用いて行う金属の溶接、溶断又は加熱の業務」を行うことができる資格が得られます。	「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	2	20	4
	アーク溶接特別教育	「アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務」を行うことができる資格が得られます。	「農業者」、「農業に従事しようとする者」又は「指導機関・団体等職員」	3	20	4

注 1 上記の「研修対象者」における「農業者」とは、北海道で農作業に従事する者をいい、経営主及び補助的従事者（専従者）又は従業員（雇用期間が 6 か月以上で、今後も農業に従事する予定の者）であり、「農業に従事しようとする者」とは、新規就農予定者（市町村長等が就農可能と認める者）及び、高校・短大・大学等の学生で就農を希望している者をいいます。

注 2 「指導機関・団体等職員」とは以下の者とし、次の優先順位により受講を認めます。

① 高校・短大・大学・農業大学校等で農業教育に携わる者

② 試験研究機関、農業関連の団体・企業、普及センターの職員で、農業機械の操作及び指導に携わる者

注 3 外国籍の方の受講については、注 1 又は注 2 の条件を満たし、かつ日本語による会話や読み書きができる方とします。

2 各種研修の実施状況

(1) 研修受講生の内訳

(単位：人)

区 分	一般研修	機械研修	計	備 考
児童	48		48	本別中央小学校
学生・大学生		42	42	
関係機関団体職員	98	110	208	農協、普及員、学校職員等
農業者	72	135	207	新規参入研修生含む
合 計	218	287	505	

(2) 受講者の推移

(単位：人)

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R 3	R 4	R 5	R 6
一 般	272	262	259	249	261	221	195	218	249	218
機 械	388	443	392	498	370	415	392	328	381	287
合 計	660	705	651	747	631	636	587	546	630	505

(3) 一般研修受講者数の推移

(単位：人)

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R 3	R 4	R 5	R 6
新規参入者（入門）										
新規参入者	19	23	29	23	20	26	29	26	28	31
農業経営者育成（基礎）	36	29	29	22	34	22	19	28	16	20
農業経営者育成（分析）	16	21	20	10	26	14	17	33	6	11
農業経営者育成（実践）	6			21	23	22	14	15		
農業簿記	38	35	33	39	9	11	13	4	11	10
北の農学校	87	28	44	28		28		23	58	48
農業・農村担い手育成セミナー	4	13	5	12	5	7	12	33		
普及員研修（新任）	16	45	32	33	93	40	35	75	87	78
普及員研修（その他）	29	45	48	42	20	51	48	38	20	20
その他	21	23	19	19	31		8	27	23	
合 計	272	262	259	249	261	221	195	302	249	218

※ 平成29年度まで「基礎」は「初級」、「分析」は「中級」、「実践・酪農」は「上級」

(4) 機械研修受講者数の推移

(単位：人)

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R 3	R 4	R 5	R 6
トラクター基本操作研修				98	90	82	65	67	61	52
スキルアップ研修				28	31	30	35	22	48	40
プランニング研修				18	14	25	17	12	8	8
農業機械高度利用研修(初・中・上級)	171	153	129							
フォークリフト運転技能講習	28	40	24	59	28	31	35	27	41	23
車両系建設機械運転技能講習	46	30	26	34	28	30	29	34	28	28
玉掛け技能講習				19	21	22	5	29	21	18
小型移動式クレーン運転技能講習							12	8	14	16
ガス溶接技能講習	72	91	71	100	50	62	54	59	50	46
アーク溶接特別教育	71	93	72	106	51	63	55		59	41
I C T農作業機実践研修		36	70	23	25	21	26	12	15	
搾乳システム基本研修										
その他				13	32	49	59	58	36	15
合 計	388	443	392	498	370	415	392	328	381	287

※農大学生の受講者を除く



農業経営者育成研修



トラクタスキルアップ研修



ガス溶接技能講習

1 家畜の飼養状況

(1) 飼養頭数 (令和 7 年 5 月現在) (単位：頭)

区分	搾乳牛	乾乳牛	育成牛	その他	計
乳用牛	13	9	15	1	38

(単位：頭)

区分	繁殖雌牛	繁殖素牛	肥育牛	肥育素牛	計
肉用牛 (黒毛和種)	20	5	9	7	41

(2) 生乳生産量

区分	農業大学校	全道平均
搾乳牛 1 頭当たり平均乳量 (R 6 年乳検年間成績)	9,084 k g / 年	9,964 k g / 年
年間生産量 (R 6 年 1 月～1 2 月)	176t	—
乳脂率 (R 6 年乳検年間成績)	4.51%	4.07%
蛋白質率 (R 6 年乳検年間成績)	3.51%	3.42%

(3) 飼養形態

区 分	飼 養 畜 舎	給 餌 飼 料
乳用牛	フリーストール ミルクパーラー	TMR (コーンサイレージ、配合飼料等の混合飼料)、 ロールサイレージ、乾草
肉用牛	フリーバーン	繁殖牛：ロールサイレージ、乾草、配合飼料など 肥育牛：稲わら、コーンサイレージ、配合飼料など



1 番草収穫



畜舎管理実習

2 畑作園芸作物の作付状況（令和7年度）

【畑作園芸経営学科】

（単位：a）

畑 作 部	小麦	80	秋まき：「きたほなみ」
	馬鈴しょ	70	生食：「きたかむい」「とうや」「キタアカリ」
		100	加工：「さやか」「スノーデン」
	てん菜	80	移植・直播：「プロテウス」
	豆類	40	大豆：「ユキホマレR」
		80	小豆：「エリモ167」「きたろまん」「エリモショウズ」
		1	えだまめ：「ユキホマレR」「いわいくろ」
	合計	451	

露 地 野 菜 部	たまねぎ	50	春まき（移植）：「SN-3A」「北もみじ2000」
	長ねぎ	2	「北の匠」
	ブロッコリー	10	「アーリーキャノン」「夢はやて」「スーパードーム」
	カリフラワー	1	「バロック」「ネオスパイラル」
	スイートコーン	10	「ゴールドラッシュネオ」
	にんじん	2	「Dr.カロテン」「京くれないEX」
	ながいも	3	「とかち太郎」
	ごぼう	2	「柳川理想」
	キャベツ	1.5	「北ひかり」「湖月SP」「ルビーボールSP」
	落花生	2	「郷の香」
	陸稲	3	「ななつぼし」「えみまる」
	合計	86.5	

施 設 園 芸 部	トマト	1	「パルト」「れおん」「りんか409」
	オクラ	0.5	「アーリーファイブ」「島の恋」
	メロン	2	「ルピアレッド」「摩周レッド」「レノンウェーブ」
	すいか	1	「祭ばやし777」「紅まくら」「ピノ・ガール」
	いちご	1	夏秋どり（高設）：「すずあかね」「夏のしずく」「よつぼし」「ペチカエバー」
	なす	1	「みず茄」「とげなし千両二号」「シルクボーイ」
	ほうれんそう	1	「トリトン」
	合計	7.5	

有 機 部	馬鈴しょ	20	「キタアカリ」
	かぼちゃ	5	「ぬくもり」
	スイートコーン	3	「ピーターコーン」
	さつまいも	3	「ゆきこまち」「高系14号」
	レタス	1	「シルル」
	合計	32	

注）作付面積0.5a未満の作物は掲載していないため、p4の作付作物とは一致しない。



ハウス野菜植付



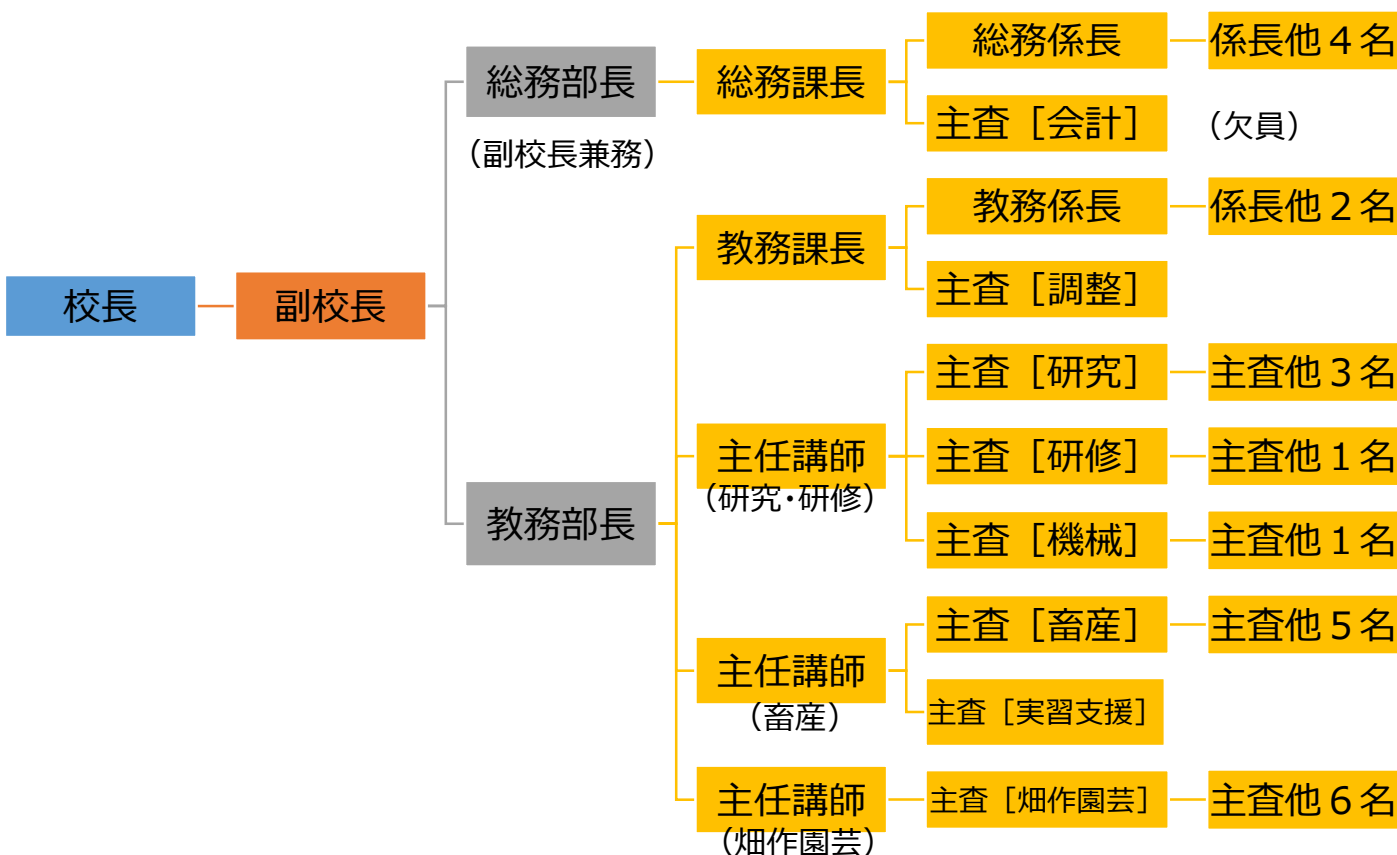
機械施設演習



ハウスのビニール張り

4 北海道立農業大学校組織図（令和7年度）

（1）職員数 38名（管理部門：8名、指導部門：30名）



（2）会計年度任用職員

6名（主事1名、舎監5名を委嘱）

（3）特別職非常勤職員

1名（嘱託医師1名を委嘱）

（4）農業機械研修委託講師

4名（公益財団法人北海道農業公社職員）

（5）派遣講師

道内の農業試験場研究職員、普及指導員、家畜保健衛生所職員及び各界の有識者を外来講師として依頼



校舎全景

北海道立農業大学校ブランド

仙美里ヶ丘

senbirigaoka

のご紹介

★仙美里ヶ丘ブランドとは★

北海道立農業大学校のある本別町西仙美里地区は本別町郊外の高台に位置し、『仙美里（せんびり）が丘』という愛称で親しまれています。

仙美里ヶ丘ブランドは農業大学校の実習農場で生産された農畜産物に、研究課程の学生が付加価値化に取り組んで生まれたオリジナル商品です。

☆アイスクリーム

※農業大学校産 牛乳・かぼちゃ・いちご使用



○バニラ

すっきりとしたミルクアイスにほのかなバニラの香りを感じる一品です。

○かぼちゃ

農業大学校で生産された、かぼちゃをペーストにしてアイスにブレンド。濃厚で、かぼちゃの甘い香りを感じる一品です。

○キレイマメ

本別町産の『キレイマメ（黒光大豆）』のきなこアイスに、岡女堂本家の甘納豆をトッピング。本別町の特産品を堪能できる一品です。

○いちご

農業大学校で生産されたいちごをジャムにしてアイスにブレンド。いちごの風味や味を生かすため、甘さひかえめで少し酸味を感じる一品です。

☆ゴータチーズ

※農業大学校産 生乳100%使用

農業大学校で生産された生乳を殺菌・加工し、約3ヶ月の熟成期間を経て販売されます。クセは少なく、そのまま食べるほか、料理に入れても良い一品です。



☆いちごジャム

※農業大学校産 いちご使用



畑作園芸経営学科が生産したいちごを使用しています。いちごの味を活かすため、少し酸味の強いジャムです。



☆かぼちゃパン

※農業大学校産 かぼちゃ・牛乳使用

十勝産の小麦粉に農業大学校産のかぼちゃペースト・牛乳を練り込み、さらにかぼちゃ餡をサンドして焼き上げた一品。生地とかぼちゃ餡が層状で、外はパリッと、中はふわっと違った食感が楽しめます。

☆のうだい牛乳

※農業大学校産 生乳100%使用

農業大学校産の生乳を63℃/30分で低温殺菌。
成分無調整・ノンホモ牛乳なので季節によって味わいがあります。



6 北海道立農業大学の情報発信

★公式ホームページ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>



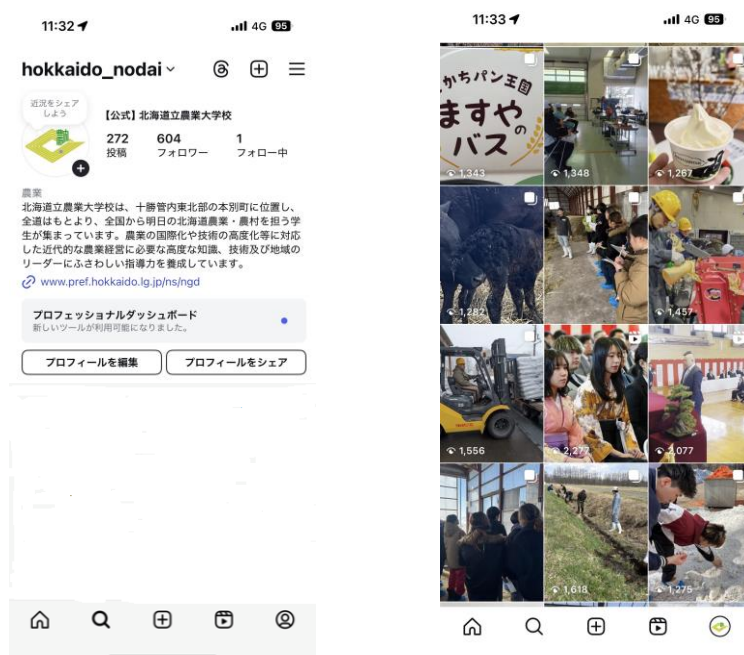
★公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/nougyoudaigakkou/>



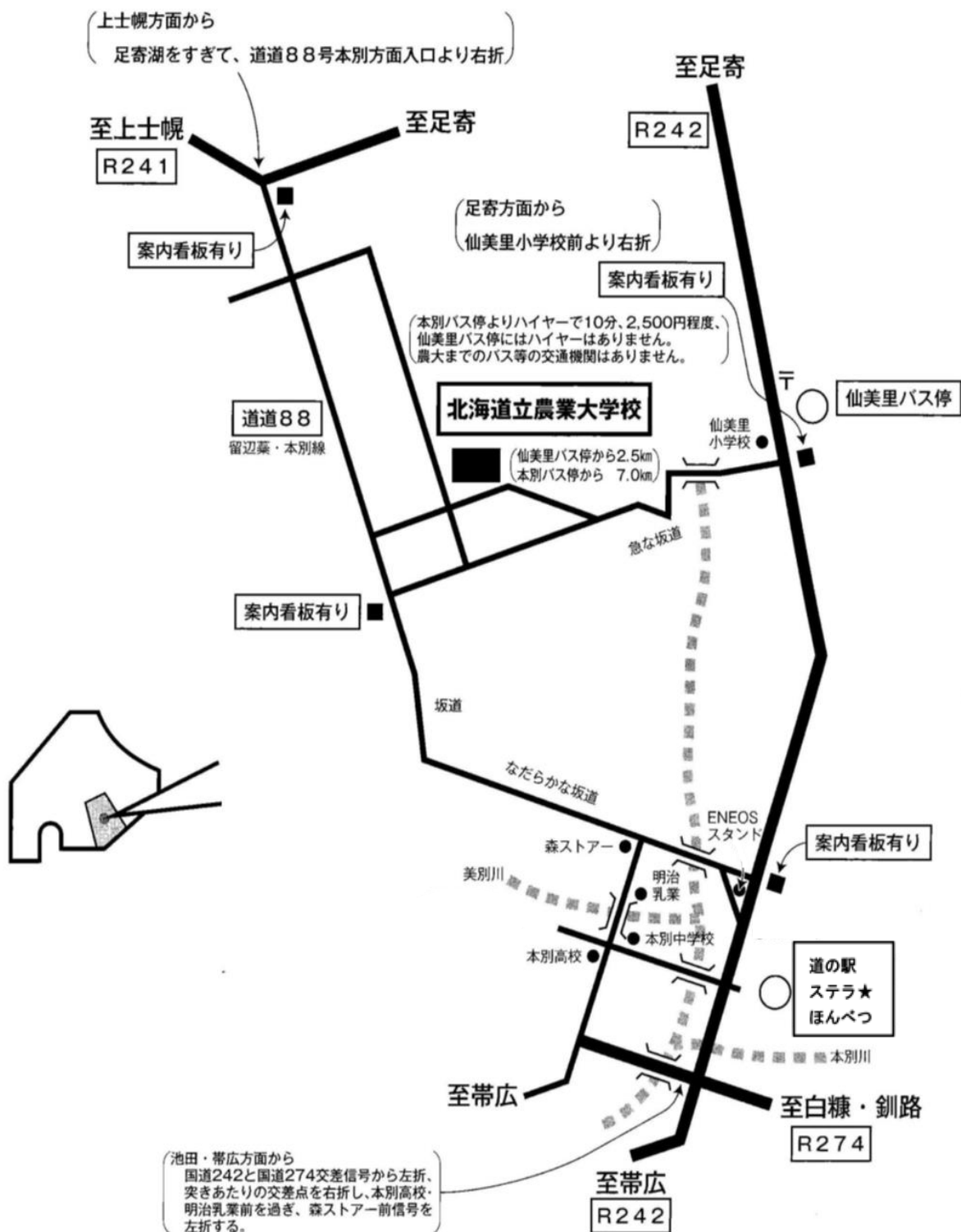
★公式Instagramアカウント

[hokkaido_nodai](https://www.instagram.com/hokkaido_nodai)



7 農業大学校施設案内図





北海道立農業大学校

〒089-3675 北海道中川郡本別町西仙美里25番地1

TEL 0156-24-2121（代表）

TEL 0156-24-2122（教務部直通）

TEL 0156-24-2700（研究・研修直通）

FAX 0156-24-2421

Webページ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>

Facebook <https://www.facebook.com/nougyoudaigakkou/>

E-mail nodai.somu1@pref.hokkaido.lg.jp

nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp